

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成28年6月29日

(宛先) 前橋市長 様

提出者

住 所 群馬県前橋市鳥取町123

氏 名 相模屋食料株式会社

代表取締役社長 鳥越 淳司

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 027-269-2345(代)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称 相模屋食料株式会社 芳賀工場

事業場の所在地 前橋市鳥取町155番地1

計画期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類 豆腐・油揚げ製造業 (E09 食品製造業)

② 事業の規模 6,000,000千円

③ 従業員数 550人

④ 産業廃棄物の  
一連の処理の  
工 程 別紙のとおり

(日本工業規格 A列 番)



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（平成27年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥(有機性)
排出量	186.8 t	1788.7 t

(これまでに実施した取組)  
汚泥に関して、脱水性の向上を進めた。

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥(有機性)
排出量	170 t	1700 t

(今後実施する予定の取組)  
動植物性残渣に関して、飼料としての利用価値が高いことが判った為、飼料化に向けての取り組みを進める。  
また、平行して減容化への取り組みを進める。

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  
動植物性残渣、汚泥、廃油、廃プラスチック類は  
それぞれ所定の置場、所定の容器を設置し、分別に努めている。

② 計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  
廃プラスチック類の分別に努め、再生可能品とそれ以外との  
区分けを実施していく。

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
	排出量	30.3 t	396 t
	(これまでに実施した取組) 廃アルカリに関して、自社で全量中間処理が可能となった。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
	排出量	28 t	380 t
	(今後実施する予定の取組) 廃アルカリに関して、外部委託処分量をゼロにすることができた。 今後は総排出量の削減に取り組む。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	-
② 計画	-

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	<b>【前年度（平成27年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	排出量	105.7 t	t
	(これまでに実施した取組) 分別方法の見直しや区分けにより、再生可能品のリサイクルを行った。		
② 計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	排出量	100 t	t
	(今後実施する予定の取組) 工程改善を行うことで排出量の削減に取り組む。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	-
② 計画	-

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	-	-
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	396 t	t
(これまでに実施した取組)			
中間処理設備の稼働により、全量を自社にて中間処理を行うことが可能になった。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	400 t	t
(今後実施する予定の取組)			
中間処理設備の安定化に努めることで、廃アルカリの全量自社処理を継続して行う。			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	-	-
	(これまでに実施した取組) なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	-	-
	(今後実施する予定の取組) なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥(有機性)
	全処理委託量	186.8 t	1788.7 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	186.8 t	1788.7 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 処分委託先にて問題なく処分が実施されているかの確認を行った。また、汚泥を削減する為の脱水試験及び設備変更を行った。		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	-	-
	(これまでに実施した取組) なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	-	-
	(今後実施する予定の取組) なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
	全処理委託量	30.3 t	396 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	30.3 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 廃油は焼却及び安定型埋め立て処分を確実に委託先が実施していることを確認するとともに、自社中間処理にて委託量の削減に努めた。廃アルカリは自社中間処理施設を稼働させることで、処理委託量をゼロにすることができた。		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	-	-
	(これまでに実施した取組) なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	-	-
	(今後実施する予定の取組) なし。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	全処理委託量	105.7 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	105.7 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者への委託を実施し、一部再資源化を行った。		



②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥(有機性)
	全処理委託量	170 t	1700 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	170 t	1700 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 継続して動植物残渣に関しては、排出量そのものを減らすための 工程改善、汚泥に関しては排出量削減の方策検討を行う。		
※事務処理欄			

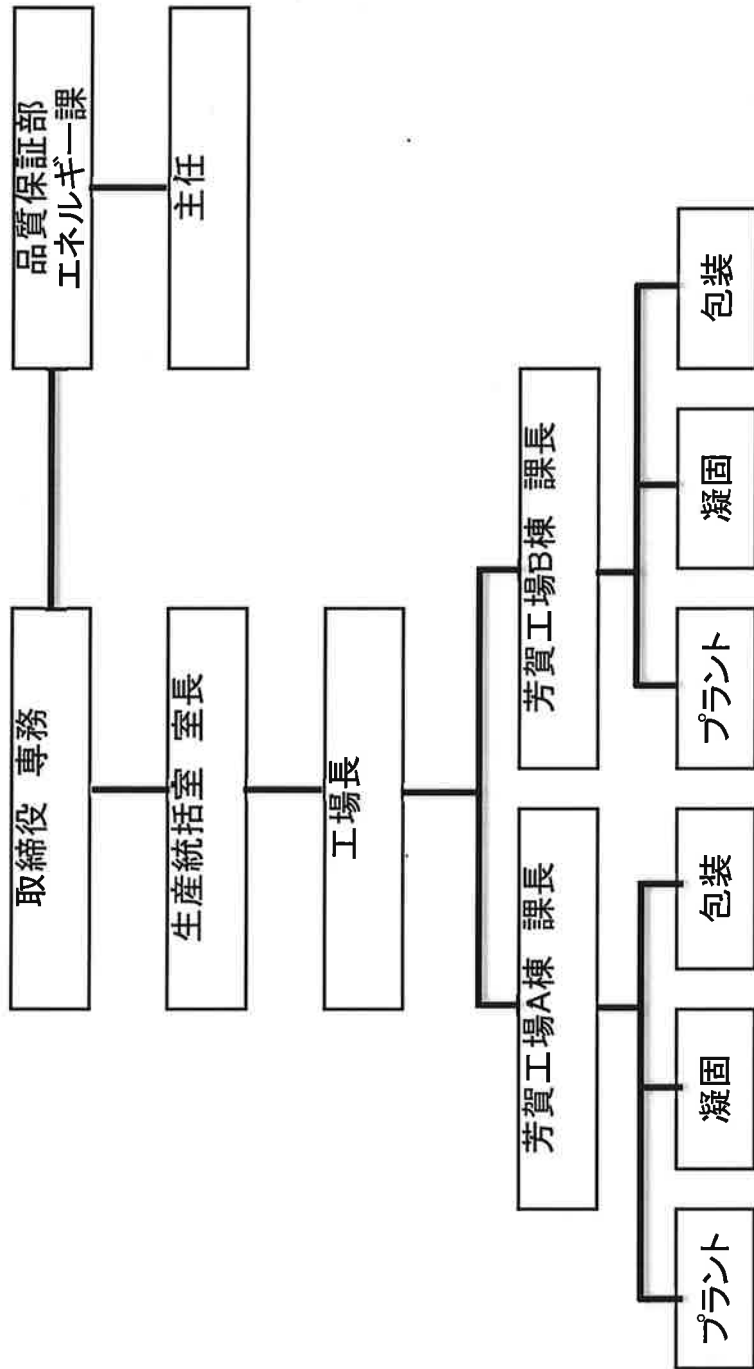
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
	全処理委託量	28.0 t	0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	28.0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>継続して委託先業者が処分を問題なく確実にしている課の確認するとともに、廃アルカリの処分委託量をゼロとする。</p>		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	全処理委託量	100 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	100 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>周辺環境に十二分に配慮しながら処理を実施しているか確認をしながら委託をするとともに、再生利用業者を更に増やし、再資源化される量を増やす。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

芳賀工場 廃棄物の処理に係る管理体制図



平成28年5月13日 改訂

動物性残渣  
運搬委託先

排出者

相模屋食料

会社名: 奈良農場  
許可番号: 1000037807

会社名: 奈良農場  
許可番号: 11420037807  
処理方法: 堆肥化  
備考: 再生利用

会社名: 赤城特殊肥料  
許可番号: 1020044220  
処理方法: 堆肥化  
備考: 再生利用

会社名: 太陽農産  
許可番号: 11420006964  
処理方法: 堆肥化  
備考: 再生利用

会社名: 舟田興業  
許可番号: 1000008667

会社名: フナオカ  
許可番号: 920135552  
処理方法: 発酵  
備考: 再生利用

会社名: 山の郷  
許可番号: 950005126

中間処分委託先

排出者

相模屋食料

会社名: 山の郷  
許可番号: 950005126

会社名: ダイセイキ  
許可番号: 970002742  
処理方法: 中和  
備考: 優良認定

中間処分委託先

廃アルカリ  
運搬委託先

排出者

相模屋食料

会社名: 自社運搬  
許可番号:

会社名: 須田工業  
許可番号: 1144000261  
処理方法: 焼却  
備考:

中間処分委託先

汚泥  
運搬委託先

排出者

相模屋食料

会社名: 奈良農場  
許可番号: 1000037807

会社名: 奈良農場  
許可番号: 11420037807  
処理方法: 堆肥化  
備考: 再生利用

会社名: 赤城特殊肥料  
許可番号: 1020044220  
処理方法: 堆肥化  
備考: 再生利用

会社名: 横野堆肥センター  
許可番号: 1020123085  
処理方法: 堆肥化  
備考: 再生利用

会社名: 山の郷  
許可番号: 1000008667

会社名: 三栄管理興業  
許可番号: 1120011985  
処理方法: 脱水  
備考:

中間処分委託先

排出者

相模屋食料

会社名: 脇谷  
許可番号: 10000082252

会社名: 須田工業  
許可番号: 1144000261  
処理方法: 焼却  
備考:

会社名: テンマ  
許可番号: 1020008352  
処理方法: 焼却  
備考:

会社名: 金谷商事  
許可番号: 1020025764  
処理方法: 焼却  
備考:

会社名: 環境システムズ  
許可番号: 1020043671  
処理方法: 破碎・選別  
備考:

中間処分委託先

廃プラスチック類  
運搬委託先

排出者

相模屋食料

会社名: 脇谷  
許可番号: 10000082252

会社名: 須田工業  
許可番号: 1144000261  
処理方法: 焼却  
備考:

会社名: テンマ  
許可番号: 1020008352  
処理方法: 焼却  
備考:

会社名: 金谷商事  
許可番号: 1020025764  
処理方法: 焼却  
備考:

会社名: 環境システムズ  
許可番号: 1020043671  
処理方法: 破碎・選別  
備考:

中間処分委託先